

十勝岳の火山活動解説資料

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

本日（1日）午前、北海道の協力により上空からの観測を実施しました。大正火口東壁に從來からみられている地熱域の中に、より温度の高い領域が認められ、火山ガスを含んだ青白色の噴気が斜面に沿って北西方向に流れているのを確認しました。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、大正火口や62-2火口付近には近付かないよう注意して下さい。また、火口から出た火山ガスが風下側の登山道まで流れてくる場合がありますので、火山ガスにも注意して下さい。

<噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）が継続>

○ 活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図1～2）

本日（1日）午前、北海道の協力により実施した上空からの観測では、大正火口周辺に火山灰などの噴出物は認められませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、大正火口東壁に從來からみられている地熱域の中に硫黄が燃焼したと推定される温度の高い領域を確認しました。火口からは火山ガスを含んだ青白色の噴気が斜面に沿って北西に流れていました。また、現地調査でも大正火口から約3km北西の望岳台で二酸化硫黄臭を確認しました。大正火口では高温の状態が継続していると考えられます。

・地震及び微動の発生状況

火山性地震は少なく、地震活動は概ね低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況

傾斜計及びGPS連続観測では特段の変化はありませんでした。

○ 活動評価

十勝岳の地震活動及び噴煙活動は概ね静穏に経過していますが、2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張は継続していますので、火山活動の推移に注意して下さい。

1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 十勝岳 上空からの赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）



図 2 十勝岳 大正火口の火山ガス及び噴気の状況（図 1 の①方向から撮影）



図3 十勝岳 大正火口の状況（図1の②方向から撮影）

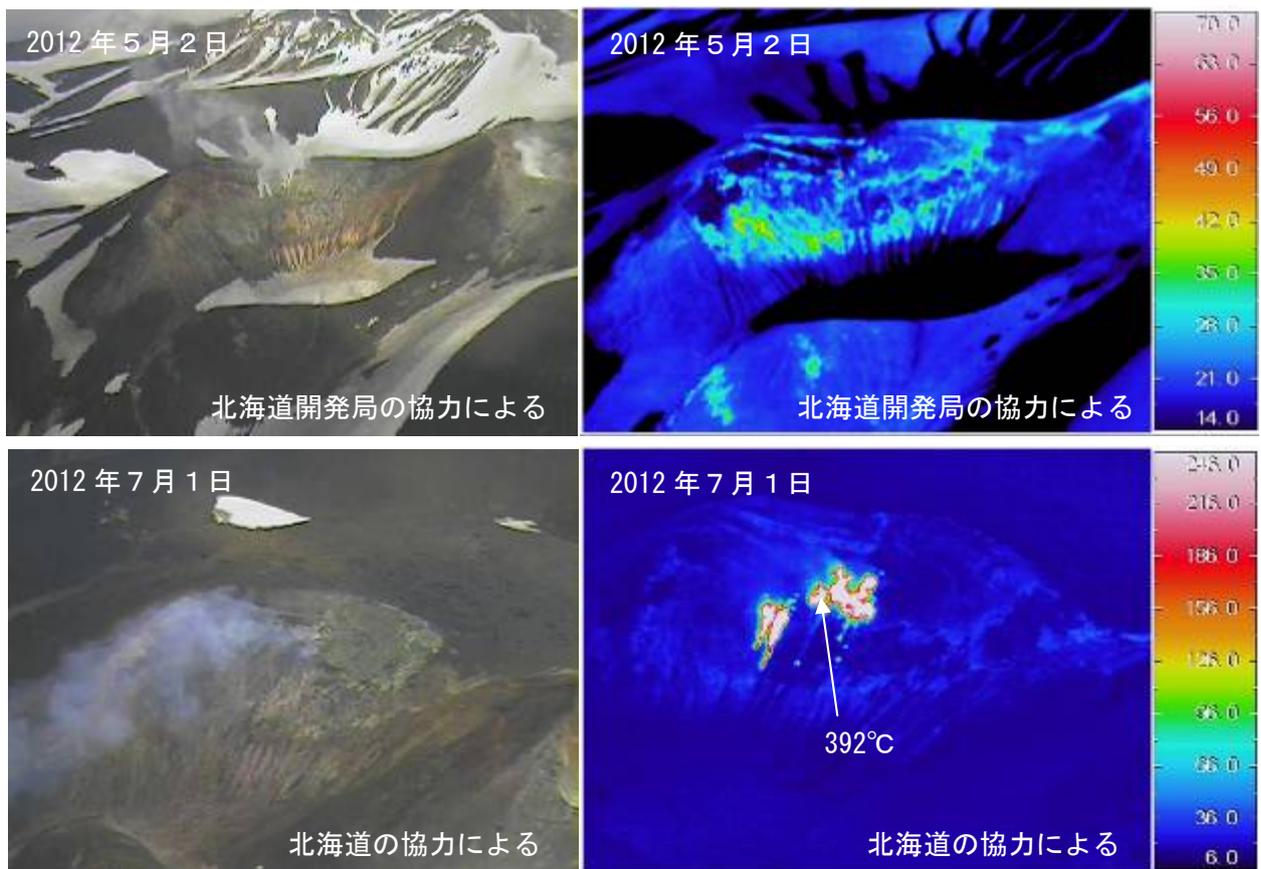


図4 十勝岳 赤外熱映像装置¹⁾による大正火口の地表面温度分布
北西側上空（図1の②方向）から撮影